

## 仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。  
 通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、  
 国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、  
 研究の目的を含む、研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を  
 学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	悪性消化管閉塞に対する十二指腸ステント留置部位と開存期間の関係に関する検討
当院の診療科・研究責任者	消化器内科・鈴木 隆太
他の研究機関	なし
本研究の目的	十二指腸ステントが留置された場所の違いにおける、ステントの開存期間を比較・検討することが目的です。
研究期間 調査対象期間	委員会承認日～2021年3月31日 2013年3月～2019年2月
研究の方法（対象となる方）	切除不能な膵臓癌・胆管癌で、消化管閉塞をきたし十二指腸ステントを挿入した患者さんです。
研究の方法（利用する情報）	対象患者さんの年齢・性別・十二指腸ステントの留置部位・使用したステントの種類・ステントの長径・ステントの開存期間・生存期間・胆管閉塞の有無・腫瘍の口側への進展度・臨床的成功率・手技的成功率・合併症発生率等を電子カルテ、転院先、ご家族への電話での連絡により取得。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。 (利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。) 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 <b>【電話】</b> 022-222-6181 <b>【担当者】</b> 消化器内科・鈴木 隆太
備考	